

## 静岡県試験研究 10 大トピックス（農林技術研究所）

タイトル	メンテナンスフリー切り花の開発	研究課題名 期間	平成 25～27 年度
所 属	農林技術研究所 花き科	補職名	科長
		研究者名	外岡 慎
		問合せ先	0538-36-1555
研 究 概 要	<p>【背景・ねらい】</p> <p>近年のライフスタイルの変化によって、若年層を中心に切り花の無購買層が増加している。この理由は「花の世話が大変・わからない」であり、花瓶を持たない家庭も増えている。</p> <p>そこで、日持ちを向上させる県独自の技術を開発し、消費者が手をかけずに花を楽しめる新たな「メンテナンスフリー切り花」商品を開発・普及することで、無購買層の販路開拓につなげ、切り花消費の創出・拡大を図る。</p>		
	<p>【成果の内容・特徴】</p> <p>1 静岡県花き市場連合会と静岡産業大学との共同研究により、ガーベラとバラで、給水用ゼリーが入った容器付の切り花新商品のプロトタイプを開発した。ゼリーのため、容器を倒しても汚すことがなく、手入れすることなく 10 日以上観賞が可能である。</p> <p>2 浜名湖花博 2014 において、開発したプロトタイプについて 625 名を対象にモニター調査を実施し、日持ちについてバラでは 8 割、ガーベラでは 9 割以上のモニターが満足と回答した。</p> <p>3 ガーベラでは花茎と生け水の腐りの発生を抑えるとともに、花の咲き進みを抑制する水揚げ剤を開発し、特許申請を行った。給水用ゼリーにこの剤を添加することにより、さらに 1 週間程度観賞期間が長くなる。</p> <p>4 現在、共同研究を行う静岡県花き市場連合会が試験販売を行うとともに、ガーベラとバラ以外の花や添え物となる薬物への利用拡大を想定し、汎用性の高い給水用ゼリーの組成について検討している。</p>		
	<p>【成果の活用・留意点】</p> <p>1 モニター調査を除くデータは、気温23℃、相対湿度70%の条件で行ったものであり、観賞環境によって変化する。</p> <p>2 給水用ゼリーは食用にも利用されるものであるが、花に栄養を与える成分、バクテリアの繁殖を抑制する成分が含まれているため、誤って口にすることがないように注意する。また観賞中に効果が低下するため、観賞後は処分する。</p>		

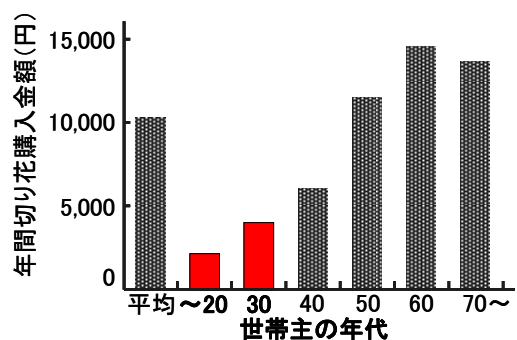


図1 世帯主の年代別年間切り花購入金額  
(二人以上の世帯、H22：総務省資料)



図2 開発したプロトタイプ



図3 浜名湖花博2014でのモニター調査

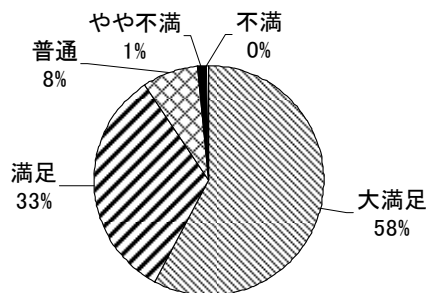


図4 プロトタイプの日持ちに関する満足度  
(モニター調査、n=408、ガーベラ)



図5 生け花後19日後のガーベラ  
右：研究所で開発した水揚げ剤  
左：対照（無添加）



図6 試験販売の様子  
クリスマス向け（セノバ）

\* 図、写真などについては次頁に添付をお願いします。